

動物愛護の法整備に力を入れています！

兵庫県動物愛護センター「愛護館」がリニューアル

猫の完全屋内飼育をモデルルームで体験学習

尼崎市にある兵庫県動物愛護センターは1998年の設立以来、正しい動物の飼い方の普及や、保護された犬や猫の譲渡事業を実施。施設の老朽化を受け、今回改装されました。リニューアルの目玉が、猫専用の屋内飼育モデルルーム。犬に比べて飼育放棄や多頭飼育崩壊など苦情が多い猫。そこで、完全屋内飼育を推進するため、一般家庭の居間を再現し、猫の屋内飼育をイメージし

やすいモデルルーム(約28平方メートル)を設置。中にはキャットハウスや爪研ぎグッズ、キャットウォークなどが備えられ、係員が屋内飼育のポイントを説明してくれます。他に、子ども向けの大型絵本、動物の図鑑などが置かれたライブラリーを開設。また、来館者のニーズに合わせたさまざまなイベントや講演会などを行える啓発レクチャーコーナーもあります。

仔猫たちが優しい里親さんを待っています

犬、猫の殺処分が大幅に減少！

国内で1850万匹を超える犬や猫が飼育され、ペットが家族の一員とされる一方、無責任な飼育放棄や虐待などが社会問題になっています。公明党は人と動物が共生する豊かな社会の実現をめざし、一貫して対策をリードしてきました。

動物虐待罪の厳罰化

本年6月12日、動物虐待罪の厳罰化や、犬、猫へのマイクロチップ装着の義務化などを盛り込んだ、改正動物愛護管理法が成立しました。公明党は相次ぐ悪質な動物虐待を防ぐため、超党派による議論で厳罰化を粘り強く主張。尊い命を守る闘いを、また一歩前に進めることができました。これらの法整備や政府への要請に加え、各地で動物愛護センター開設や条例制定などを推進する地方

議員の取り組みにより対策が大きく前進。05年度に36万5000匹だった犬や猫の殺処分数は、17年度は4万3000匹となり、12年間で8分の1以下へと大幅に減少しています。
動物看護師を国家資格に
公明党は、獣医療の質を向上させる観点から、獣医師の診療補助や動物の看護などを行う動物看護師の重要性に早くから着目。政府に国会質問などを通じ繰り返し国家資格化の必要性を訴えてきました。超党派に

よる法案取りまとめ、6月21日、動物看護師を国家資格に規定する「愛玩動物看護師法」の成立を実現させました。
災害時の「同行避難」を進める
公明党は、東日本大震災をきっかけに注目されるようになったペットとの「同行避難」についても対策を進めてきました。ペットと共に避難するための環境整備や預かり施設の確保、飼い主不明の動物の引き取り先確



保などの対策を政府に要請。同行避難を国の防災計画などに明記するよう訴えてきました。地方議員も各地で後押しし、被災ペットの受け入れ体制が強化されました。また環境省は、ペットの飼い主向けに災害時の避難方法などをまとめた冊子を配布しています。

コミュニティサイクル実証実験

開始から1年が経ちました!!



お好きなステーションで借りてお好きなステーションに返せる自由な自転車シェアサービス。実証実験が始まってもうすぐ1年が経ち、通勤や通学で毎日のように利用されている方や、ちょっと遠出で電動自転車移動したい時だけ

谷井が実現しました

皆さま、もうご利用されましたか？

利用する方など、便利にお使い頂いています。尼崎市内だけでなく、西宮市や芦屋市など他市のステーションでも、借りたり返したりができるようになり、より便利になりました。(ステーションの場所はアプリで簡単に確認できます。)



- 実施期間: 2018/12/1~2020/3/31
- 実施場所: 尼崎市内全域
- 利用対象: 誰でも利用可能
- 利用料金: 15分ごとに70円* (24時間最大1000円)
- ※2019年11月1日から料金が改定されました

- 利用方法
運営サイト「HELLO CYCLING」(ハローサイクリング)に必要な情報を入力し、会員登録することで、予約、貸出、返却、支払をすることができます。
※右のQRコードから入れます
※スマホアプリをダウンロードして登録も可能



兵庫県議会議員 (尼崎市選挙区) **谷井いさお** 県政レポート 小さな声を大きな変革に!
令和元年/第1号
【発行】兵庫県議会 公明党・県民会議 谷井いさお 〒650-8567 神戸市中央区下山手通 5-10-1 tel/078-362-3727

公明党 NEW 実績!! 踏み間違い事故なくせ

兵庫県が急発進防止装置に補助

兵庫県は10月から、高齢運転者の交通事故を防止するため、アクセルとブレーキの踏み間違いによる車の急発進を防止する装置の設置費用を県単独で補助する事業をスタートしました。(詳しくは下記参照)

公明党・県民会議議員団は、2020年度予算要望の中で、高齢ドライバーの安全運転支援装置の設置を促すため、「踏み間違いを防止する安全運転支援装置を高齢ドライバーが購入する際の新たな支援制度を創設し、設置普及を図るべき」と主張していました。



知事への予算要望の中で、急発進防止装置の設置費補助を要望しました

高齢運転者事故防止対策事業補助金

アクセルとブレーキの踏み間違い時の事故を抑止する安全装置の購入・設置費用の一部を補助します。

75歳以上のドライバーの方に、補助金額22,000円

- | 対象となる方 | 対象となる安全装置の要件 | 設置する自動車の要件 |
|--------------------------------------|--|--|
| ①兵庫県内に在住で、令和2年3月31日までに75歳以上となる方 | ●急発進抑制タイプ
アクセルを急激に踏み込んだ場合にセンサーが異常検知し、急加速を抑制(車内操作で一時的に機能を停止できるものに限る) | ①高齢者が運転する場合に主に使用する自動車(家族等所有も可)で、原則として設置後1年6か月間は使用する予定であること |
| ②自動車(自動二輪を除く)を運転できる有効期限内の運転免許証を保有する方 | ●障害物感知タイプ
一定範囲内の障害物をセンサー等が検知した場合、アクセルの急激な踏み込みに対し、加速を抑制 | ②自家用車であること |
| ③暴団員等でない方 | | ③自動車税又は軽自動車税の滞納がないこと |



兵庫県交通安全室
TEL.078-362-9072
詳しくは県ホームページでご確認ください



谷井いさお(公明党・県民会議)実績特集

「小さな声」聴き 政策を前へ

公明党には「小さな声を聴く力」「政策を前へ進める力」がみなぎっています。谷井いさお(公明党・県民会議)が推進した最新の実績を紹介いたします。

防災・減災	障がい者支援	がん対策の充実	子育て支援	神戸空港の増便
携帯メールを使い、登録者に災害・防災・避難情報を発信してきた「ひょうご防災ネット」が、スマートフォン向けアプリの運用をスタート。GPS機能を活用した避難場所の検索や、音声や絵文字、多言語による分かりやすい防災・避難情報を受け取れると、話題を呼んでいます。 一方、県内各地で津波防災インフラ整備、土砂災害対策が着実に実施されています。	重症の身体障がい者に電動車いすや座位保持装置などを支給する際に必要な医学的判定について、これまで神戸市西区の1カ所のみで行ってきたものが、西宮市の兵庫医科大学病院でも可能になり、「障がい者の経済的負担が軽減される」と喜ばれています。また、県東部への障がい児者リハビリ拠点の設置やスポーツ施設も整備。ヘルプマークの普及啓発も一層進みました。	全国初の小児がん治療に重点を置いた神戸陽子線センターが、ポートアイランドに開院。外科・化学療法と併用して体への負担が少ない陽子線治療が可能になりました。 一方、抗がん剤による、がん患者の脱毛など外見上の変化をカバーし、ストレスを和らげる県立病院でのアピアランス支援も好評。早期発見・治療・予防を促す、がん対策推進条例も制定されました。	子育ての経済的負担を軽減する観点から、国による幼児教育無償化の10月実施に合わせ、第2子以降の補助基準額を月額1万5000円に引き上げるなど、県と市町で保育料の上乗せ補助を行います。 また国の私立高校授業料軽減補助に県で単独加算し、年収350~590万未満に3万3000円増額など、低所得世帯の負担を軽減します。	5月に開かれた関西3空港懇談会で、神戸空港の発着便数の上限について、現状の「1日60便」から「1日80便」へ増やすとともに、発着終了時間が「午後10時まで」から「午後11時まで」と、1時間延長することが合意されました。年内開始が期待されており、今後は国際線就航も検討される見通しです。

赤羽国交相や各省庁に来年度予算編成に対する要望書を提出

防災・減災対策をはじめ諸課題解決への支援求める

公明党・県民会議は、9月19日、国土交通省を訪れ赤羽一嘉国土交通大臣に令和2年度予算編成等に対する要望書を提出しました。

赤羽国交相を訪問した県会公明党・県民会議議員は、県の厳しい財政状況や地方が抱える諸課題を説明し、①防災・減災・国土強靱化推進のための3か年緊急対策の延長②関西都市圏のミッシングリンクの解消③日本海国土軸のミッシングリンクの解消などを求めました。これらに対し、赤羽国交相は理解を示し、検討していく姿勢を示しました。

一行は同日、黒田武一郎総務審議官、江藤拓農林水産大臣、嶋田裕光子子ども子育て本部統括官らを訪



赤羽一嘉国交大臣へ県の要望書を手渡しました (9/19)

問、翌20日には稲津久厚生労働大臣を訪れ、予算編成に対する要望・意見交換を行い、早急且つ着実な対応を求めました。文部科学省関連の要望に関しては、佐々木さやか文部科学省政務官に要望書を提出しました。

国交省以外への主要要望事項は次の通りです。



江藤拓農林水産大臣へ県の要望書を手渡しました (9/19)

総務大臣

- (1)地域おこし協力隊に関する財政支援の拡充
- (2)会計年度任用職員制度に伴う財政負担への適切な財政措置
- (3)地方議会議員選挙における選挙制度の見直し

農林水産大臣

- (1)AI、ICT等先端技術を活用した農業(スマート農業)の支援
- (2)和牛精液等の国外流出対策の強化

内閣府特命担当大臣(少子化対策)

- (1)0～2歳児保育の完全無償化の実現

内閣府特命担当大臣(防災担当)

- (1)関西、神戸への防災庁の設置と防災体制の充実
- ①防災庁の創設
- ②関西、神戸への防災庁の拠点整備
- ③避難行動要支援者に対する支援体制の構築

厚生労働大臣

- (1)定時巡回・随時対応サービスへの参入促進
- (2)医療支援型グループホームの整備促進
- (3)障害者リハビリテーション体制充実への支援

文部科学大臣

- (1)高等学校等就学支援金制度の拡充
- (2)スクール・サポート・スタッフの拡充
- (3)高等学校部活動指導員の配置等に対する支援制度の創設

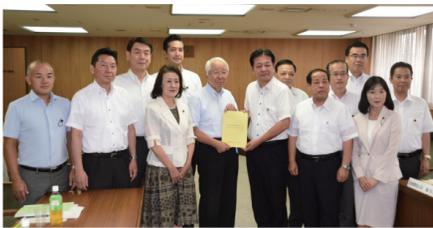
希望と活力あふれる兵庫の実現へ

知事申し入れ(9/3)

令和2年度予算編成に対する重要政策提言を申し入れ

公明党・県民会議は、9月3日、県庁内で「令和2年度当初予算編成に対する重要政策提言」を井戸知事に申し入れました。

提言書では、最重要要望事項として、①地域創生戦略の見直しと効果的な推進②私立高校授業料の実質無償化のさらなる拡充③高齢ドライバーの安全運転支援装置設置の促進——を掲げ、重点要望として「防災・減災対策の強化」「地域医療の充実」など29項目



井戸知事へ要望書を手渡しました (9/3)

を申し入れました。井戸知事からは真剣に検討するとの回答を得ました。この申し入れにより、「高齢運転者事故防止対策事業補助金」を本年10月より実現させることができました。

尼崎城再建、にぎわい生む 来場10万人突破 展示などを視察

8月24日、本年3月にオープンした「尼崎城」を視察しました。

尼崎城は1618年に江戸幕府の命で藩主・戸田氏鉄が築城。明治期の廃城令で取り壊されましたが、大手家電量販店の創業者が、全額寄付を創業地である尼崎市に申し出てこのほど再建されました。城内には、展望室、時代衣装のコーナー、昔の城下町の様子を幅

10メートルの大画面で見ることができるシアターなどがあります。市は初年度で来場者数15万7500人を目標にしていたが、9月1日時点で10万人を突破しました。城の再建に当たって公明党は、県・市議が連携し、国の補助金を活用した城址公園など周辺の整備を推進してきました。



今後は、城を中心とした観光政策の立案に力を入れて参ります

平成30年度決算特別委員会にて質問を行いました。



〈質問項目〉

企画県民部(10/8)

- (1)私立高等学校等生徒に対する就学支援について
 - ◆私立高校等生徒に対する就学支援の評価と支援の拡充について
 - ◆県外私立高等学校通学者への支援について
- (2)朝鮮学校における外国人学校振興費補助について
- (3)阪神間における広域防災体制の整備について

県土整備部(10/15)

- (1)尼崎の森中央緑地の更なる活性化について
- (2)無電柱化の促進について
- (3)空き家を含めた既存住宅の活用促進策について
- (4)山手幹線の大府側への接続について

教育委員会(10/16)

- (1)夜間中学の広域受入体制整備について
- (2)フリースクールのガイドライン策定について
- (3)多部制高校の定員数の拡充について
- (4)特別支援学校の環境整備について

企業庁(10/17)

- (1)メガソーラープロジェクトの今後の在り方について
- (2)播磨科学公園都市の在り方について
 - ◆自動運転実用化について
 - ◆ドローンの実証フィールドとしての活用方法について
- (3)(株)夢舞台の取組について

市長らの声 県政に反映へ

但馬、丹波、西播磨、淡路で「政策要望会」を開く

公明党・県民会議議員団は、8月21日から23日にかけて、公明県議のいない地域の各市町長らから県政への要望・意見を聞く「地域政策要望会」を開催しました。この要望会は、2000年から毎年夏に実施。寄せられた項目は、県知事への重点政策要望や定例会質疑を通じ、来年度予算編成に反映していく方針。今回は、県北部の但馬と丹波、県西部の西播磨、県南部の淡路の4地域5カ所で開催しました。

淡路地域	丹波地域	但馬地域	西播磨地域
<p>[淡路市開催]</p> <p>竹内通弘・洲本市長が県立淡路医療センターにおける里帰り出産の受け入れ制限解除など、妊娠・出産環境の強化を要望。守本憲弘・南あわじ市長は南海トラフ地震に備えた港の防波堤、防潮堤、水門などの整備を、門康彦・淡路市長は市生活観光バスの路線拡大に向けた支援を求めました。</p> 	<p>[丹波篠山市開催]</p> <p>酒井隆明・丹波篠山市長は「兵庫医科大学ささやま医療センター」の産科で、医師不足によって分娩が休止になる可能性があることから、存続への支援を要望。谷口進一・丹波市長は道の駅「丹波おばあちゃんの里」を、国か彦・淡路市長は市生活観光バスの路線拡大に向けた支援を求めました。</p> 	<p>[豊岡市開催]</p> <p>森田敏幸・豊岡市副市長が北近畿豊岡自動車道の整備促進を、広瀬栄・養父市長は路線バスなど移動手段への財政支援を要望。多次勝昭・朝来市長は鉄道駅へのエレベーター等の設置を求め、今井雄治・香美町副町長は急傾斜対策事業の拡充を要請しました。西村銀三・新温泉町長は日本遺産を活用した広域的な観光振興を訴えました。</p> 	<p>[たつの市開催]</p> <p>菅原昌則・たつの市理事兼企画財政部長が揖龍南北幹線道路などの整備推進を要請。坂根雅彦・宍粟市企画総務部長が森林の造成や保育を行う造林事業に対する県独自補助制度の創設を、名倉嗣朗・太子町副町長は妊娠を希望する女性らに対する県主体の風しん抗体検査の実施を求めました。</p> 



令和元年6月11日、公明党・県民会議13名が新任期スタート!

公明党・県民会議は新人議員3名を含む13名で頑張ります!(県庁前にて)

幹事長として、安心安全の未来のために、全力で働いて参ります!

公明党・県民会議の幹事長として、新しい令和の時代を切り開き、希望ある未来の実現のため、全力を尽くして働いて参ります。兵庫県議会議員 谷井いさお